



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第74号

平成29年7月19日

河津町議会だより



東小学校 運動会 入場行進

主な内容

- 複合施設 全員協議会…………… 2～3
- 一般質問…………… 5～8
- 一部事務組合報告…………… 9
- 私も一言（石田京子さん）…………… 10

全員協議会

4月20日開催

議員全員協議会が議員からの要望により開催された。議会ではこれまでに延べ25人が一般質問で取り上げている。

町当局からは、2本の答申、可決事項4件、広報かわづへの掲載、計画内容の各戸配布等がこれまでに町民に向けての説明。議会では、28年12月定例会で調査特別委員会を開き、7日間集中審議を行った。

町当局によると、29年度中に入札、工事期間約14カ月程度、平成30年度年明けを供用開始とスケジュールされている。

新たに4方向からの立面図、建物断面図2枚が示され、各議員から多くの質疑が行われた。

質問①

町長が6月議会で補正を組むと言っていたが上程するののか？

まちづくり推進課長

6月議会の補正予算で承認をもらえる様に、スケジュールを提示している。

質問②

町長の解職請求がされているが、このまま進めてもいいものか。結果が出る前に進めるのは無責任ではないのか。

町長

解職請求が出されている状況で、6月の補正予算を強行的に出すのはいかがか、というような話も聞いている。少し時間をいただきたい、6月補正に計上するかどうか判断をしたい。

質問③

複合施設ができるか、

既存の施設に空きスペースが出てくるが、どの様に考えているののか。

まちづくり推進課長

空きスペースは、本来の用途から離れて、間借り状態で改良して使っているの、元の形に戻して使っていくかと考えている。

質問④

複合施設内に学童クラブの機能が入るが、学童クラブは基本的に学校の空き教室を使うというのが第一前提だと思っっている。調べると町内の3小

学校とも空き教室は無いと言いがどうにかならぬのか。

保健福祉課長

国の方針は学校の空き教室を利用して、クラブ活動をする話になっている。ただ、学校に空き教室が無い、南小体育館の2階といった形でスタートをした。

現在、面的に定員数は30名に設定し運営をしているが、ぎりぎりの状況。夏休みになると、夏場だけ預けたいという子供がいるので入り切れない。夏休み期間中は、教室を一部借りて運営をしたが、そこに通う子供たちには、かなり暑い思いをさせながら運営をしている。

現在の利用状況、利用見込み、それから長期の利用予測を立てている。計算をしていくと、例えば2040年あたりだと43名で、現在のスペースでは対応できない想定が

質問⑤

商工会3階のコミュニケーションセンターは、機能移転後に解体するののか。その費用はどうなるののか。

町長

2階までが商工会の建物で3階は町の建物だが、屋上部分にあるアンテナは商工会の収入源になっている。耐震強度の問題もあるが商工会との話し合いになる。

まちづくり推進課長

平成24年ごろに試算をした資料では、2、3千万ぐらいの金額が出ている。3階部分は後から町で設置をしたが、建物の耐震性については一番ランクの低いⅢと出ており、耐

施設 施 答

〈一部抜粋〉

震補強するには費用がかかり、3階部分を撤去しても耐震工事は必要。

質問⑥

運営管理の内容を決めるに、管理運営委員会を設置すると言うが、スケジュールを見ると、管理運営委員会は29年度の2月までとなっている。これは完成後の運営管理について話し合いをするのだと思うが、そこで年間の運営計画も作るのか。

まちづくり推進課長

管理運営委員会は今の段階では複合施設の利用料等の設定検討をするために設置したが、施設運営の年間スケジュールを含めて検討する必要があると判断すれば、29年度以降も場合によっては予算を確保して、継続的に行うように柔軟に考えている。

質問⑦

実際の管理運営は大事な部分。他の自治体だと民間に委託するような話

があるが、建設するまでに運営管理をどうするか示していただきたい。

町長

管理運営費は、電気料等を込みで1,500万円弱を見込んでいます。テナントを募集し、1テナントについて約330万円程度の収入を見込んでいます。2テナントの収入660万円を運営費に充てたい。

管理運営費の中には、

駐車場や施設内の清掃が入っている。テナントに入った方を指定管理する訳では無いが、管理費を極力町から持ち出さないために清掃等をやっていただけか、という事も考えている。

質問⑧

子育て支援機能を切り離し、より安全な所で再度計画をする事は出来ないか。

町長

安全面について非常に疑われているが、再三に

合 疑 複 質

が迎えに行つて、途中で被災したというのは不可抗力にされてしまう。

意見②

町はリコールの答えを待たないで建設を進めた。それを議会が可決した。これは問題がある。リコールの結果どうなるかわからないから、その辺をわきまえて町長に判断をしてほしい。

意見③

財源問題で子育てサロントか学童保育というのが補助金の対象になっている。補助の対象になつ

ていないホールも社会教育上、必要施設だ。補助金を出して欲しいと国や県に相談に行くことも必要、後世に借金を残してはいけない。努力をして、結果的に

国・県から来る補助金はこれだけあったと、そういう説明をするほうが財源問題は納得がいく。起債を起こして15年償還で終わる。その間は返すお金がふえるが、町民に負担を掛けないと、はつきりと説明してほしい。

意見①

来てみなければわからないのが、自然災害の恐ろしいところ。最悪の被害想定レベル2を考慮に入れた上で大丈夫なものを作るとい

のが町長の発言の真意だと思いが、複合的に起こる被害は、考慮に入っているのかと思う。この建物に居れば子供は安全。だけど、心配に思った親

議 員 説 明 会

— 4月13日 —

「複合施設」議員説明会が開かれた。実施設計が3月28日に完了したので、予算的な説明があった。説明会の中で、全員協議会を開き諮った方が良いと言う意見があり全員協議会の開催につながった。説明会の中で変更があり避難者の収容人数が屋上に500人、3階に500人、合計1000人となった。

平成29年第2回定例会(要旨)

第2回定例会が、5月29日、31日両日にわたり本会議場で開催された。

議長諸般の報告と町長の行政報告に続き、4名の一般質問が行われた。議案6件を慎重審議し、可決承認された。

●議案第28号(条例制定)

河津町半島振興対策実施における固定資産税の特例処置について
(全員賛成)

●議案第29号(条例改正)

河津町税条例の一部を改正する条例について
(全員賛成)

●議案第30号(条例改正)

河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
(全員賛成)

●議案第31号

平成29年度河津町一般会計補正予算について(第1号)
歳入歳出それぞれ2千1

85万9千円を追加し、総額38億6千185万9千円とする。(全員賛成)

●議案第32号

平成29年度河津町水道事業会計補正予算について(第1号)

収益的収入及び支出の予算額補正 699万7千円の減額とする。
(全員賛成)

●議案第33号

平成29年度河津町温泉事業会計補正予算について(第1号)

収益的収入及び支出の予算額補正 137万3千円の追加とする。
(全員賛成)

●消防団操法大会

6月11日に南伊豆町で開催される。ポンプ車操法の部に第6分団、小型ポンプ操法の部に第10分団が出場する。

町長の行政報告

(抜粋)



●職員の人事異動

4月1日付けで33名の人事異動を発令した。28年度末の退職者は6名、補充を含め一般事務職員3名を新規採用した。

●複合施設整備事業

実施設計がほぼ完了した。今後も町民の皆様に必要なへのご理解が頂けるよう邁進する。

●町税の収納状況

平成28年度現年度分収入額9億6千220万円の収入で前年比12・76%増、滞納繰越分収入額2千878万円の収入で前年度比10・31%の増、全体で9億9千99万円。

●農業振興事業(農業遺産)

「静岡水わさびの伝承栽培」が日本農業遺産に認定され、併せて世界農業遺産への認定申請に係る承認がされた。

平成28年度現年度分収入額9億6千220万円の収入で前年比12・76%増、滞納繰越分収入額2千878万円の収入で前年度比10・31%の増、全体で9億9千99万円。

●国民健康保険税について

現年度分収入額は、2億4千780万円、前年度比0・37%の減、滞納繰越分収入額1千986万円、前年度比13・06%の減、全体で2億6千767万円。

●観光施設の利用状況

平成28年度踊り子温泉会館の入館者は、7万251人で、前年度より4千847人減。伊豆見高入谷高原温泉は、9千896人で、前年度より202人減。コテージ棟は、

●伊豆縦貫自動車道関係

河津下田道路(Ⅱ期)区間として19億5千万円の予算が決定している。天城越えルートは、3ルート案が提示され、今後地域住民へのアンケート調査が行われルート決定への手続きが進められる。

●学校・社会教育施設の改修計画

東小小学校、南小学校体育館天井落下防止対策工事が、6月に入札予定で工事期間は、夏休みを中心に実施予定。

●B&G海洋センター

B&G海洋センター体育館改修工事を11月〜2月上旬を予定している。

1千67人で前年度より51人の減。カーネーション見本園は9千288人で779人の増。

●ユネスコ世界ジオパーク

ユネスコ世界ジオパーク認定に係る書類審査が通過し、順調に進むと、平成30年の春の認定になると聞いている。



遠藤 嘉規 議員

さくら幼稚園の津波被害想定上の危険性認識は

教育長「津波の危険性は感じていない」

質問：複合施設の町民説明会で教育長が避難訓練を行っているから危険は全くない、子供たちは日々安全な場所にいると断言をしたが事実の誤認があるのではないか。父兄から立地上の懸念の声はないか。

教育長：南海トラフのレベル2で、津波は1mから10mの高さで、最短到達時間は18分から19分と予想されている。幼稚園児は94人だが職員が6人から13人で対応している。津波避難訓練は年8回行い、南小の屋上まで4分

で上れるようになる。園長はトイレなどを回って児童がいないことを確認してから最後に避難する。南小の建物は耐震構造で、海抜は2階で10・3m、屋上は18・3m、2階以上はイエローゾーンの上になる。群馬大の片田教授がこの校舎で十分ですと答えた。園児はいつでもすぐに南小に避難できるので、安全な場所

で毎日生活していると認識している。静岡大学の北村教授がレベル2クラスの津波痕跡が過去4千年の県内地質記録に無しとする論文を発表した。以上のことから立地上の津波の危険性は感じていない。父兄の危険だという声は、私のところには入っていない。

町長：幼稚園の統合をする際、安全や通園の利便性などを考慮され、今の場所を適地として選定。津波による危険性が議論されたか記憶にない。しかし、震災以降、当地が第4次被害想定等、またイエローゾーンに指定されたという事で想定外の問題も対応する事は子供達を守る立場から、考えていく。



さくら幼稚園

質問：小学校では耐震補強など対応を行っているが、幼稚園への対応は。教育長：幼稚園に予算を付けてという対応は、私が教育長になってからは無い。

複合施設

質問：町民説明会を開催して気がついたことは何か。また、建設予算の上程が見送られた。これから先の対応は。

町長：町民の理解が進んでいないと感じた。複合施設が必要であることを引き続き町民に理解してもらえように進めたいと考えている。

今後の対応は、解職請求署名運動が行われている事もあり、まだ考えていない。

質問：リコールの投票結果をもって町民の真意を問うのか。

また、リコールが失敗した場合、町民が複合施設を承認したということでは建設を進めるのか。

町長：複合施設の賛否を問うということではリコール活動をされていると認識している。法に従って進められているので、私としては見守りたい。

また、リコールの可否によって複合施設に対する考えはというものです。今後いろいろな方々とご相談をさせていただきながら進めたい。

森林づくり県民税「森の力再生事業」の活用実績

質問：町民が「森の力再生事業」の補助を使って竹林や、自宅の裏山等の森を整備したい場合はどう手続を行えばいいのか。個人の費用負担があるのか。

産業振興課長：利用した場合、まず対象となる森林等が市町村森林整備計画に定められている森林であることが前提となる。対象地内であった場合は、森林組合などの林業事業者へ要望しておく。県が各事業者からの要望を調査し賀茂農林事務所が予算の範囲内で事業調整をする。個人負担はほとんどかからない。まず、町の産業振興課に相談して欲しい。

解職請求を申し立てている方たちと話し合いの場を設けるべきではないか

町長―話し合いのつもりはない



塩田正治 議員

質問：住民の声を町政に届けるためと自ら町長になつたはずだが、解職請求（リコール）活動を起こされている方たちと解決の糸口を探り、歩み寄るためにも話し合いの場を設けるべきでは。

町長：考えの相違が非常にあるので、話し合いをする考えは無い。

教育長の防災理念について

質問：イエローゾーンに完全に入っている幼稚園と南小学校の園庭や校庭

あり方検討委員会について

で子供たちが散らばっている時でも本当に安全と明言してもいいのか。

教育長：確実に安全だという言葉の表現はむずかしい。完全かどうかはわからないが私は逃げることは出来ると思う。

質問：危険な場所に有る以上移転も念頭に入れていたのだが、現状出来る多種多様で高度なレベルの避難訓練を実施してほしいが。

教育長：年間通じて8回の避難訓練を実施している。反省や課題なども話し合い、不測の事態に対応するためには、基本的な訓練を繰り返すことが特に重要と自覚し、実践するよう指導する。

質問：平成28年度内に生まれた子供の実数が29名となり、町内全域で1学年30名前後で小学校が3校体制のままでもいいのか、町民の関心も高いがスケジュールや概要についてどうなっているか。

教育長：施設を含めた小学校のあり方を検討する。スケジュールについては考え始めたところ。委員会は29年度中に立ち上げる予定。

町長の政治姿勢について

いってぜひとも議題に上げていただきたい。

教育長：意見として伺います。

質問：無投票で当選されたため町民の皆さまに知られていない2期目の町長選挙に掲げた選挙公約は何か。

町長：複合施設建設事業で、子育て支援センター、生涯学習、文化活動のできる施設として掲げた。

質問：7年間の自己評価で、価値のある仕事があったと考えている施策は何か。



河津町津波避難マップ

町長：最重要課題として少子高齢化対策、その中で子育て世帯の住宅整備支援や不妊治療の助成拡大、子育てサロンの開設、学童クラブの実施。防災対策では、小・中学校の耐震化、各体育館の天井落下防止対策、津波避難路の整備、ソフト面として災害ボランティアコーデイネーター、防災士会、地域自主防災会と連携し、防災意識の向上。着地型観光の推進として、舟戸の番屋開設。産業交流として軽トラ市の開催。河津桜は町の宝であるとして、河津桜守人の認定。教育文化の振興として、ならんだの里平安の仏像展示館の開館。等々着々とまちづくりを進めている。

質問：やり残した事もあるという話だが、次期町長選挙に出るつもりがあるか。

町長：今の時点では考えていない。



仲里司議員

河津下田道路開通による 周辺地域の振興計画は

町長―交流人口増加に寄与する 地域振興計画を立てる

質問：河津下田道路の工事が本格化してきた。完成予定の河津インターチェンジは上地区の中心に位置しており、付近は周辺道路も含め大きく変わってきている。周辺地域の振興計画はどのようになっているか。

町長：工事が順調に進みこの区間が部分供用された場合、河津駅周辺の市街地部とのアクセスが各インターチェンジからとなり、動線が大きく変化すると思われる。そのためにも将来を見据えた事業展開が必要。現在、逆

川地域内においては、「花木の里」プロジェクトを推進中で植樹を行っている。また、河津インターチェンジ地区には河津桜のランドマーク整備を行いこれらは交流人口増加に寄与するものと考えている。これら以外にも将来のために事業展開が必要だが、まずは地域、町民から盛り上がりをもって、例えば30人委員会というようなまち歩き組織を立ち上げて地域活性化のブランドデザインを作っていければと思う。

青山学院大学との 連携協定について

質問：青山学院大学は河津町が11番目の協定締結自治体であり、こちらか

らの発信、提案がより重要になる。今後の連携協定の予定と計画は

町長：現在、連携協定して間もないため、短期的、中長期的にどのようなことが連携できるのかを進めている。英語に関する事業ができないかと教育委員会からも話があるの

質問：町民との協働活動をどのように進めていく予定か。
町長：まだ具体的には掲げられないが、例として河津町まち・ひと・しごと創生総合戦略にある河津大好きが集まる交

流の場としてのコミュニケーション力フェなどの支援などの事業に取り組みればいいかなと思っている。

駅前周辺の来町者への 防災対策は

質問：観光客を含めた来町者への災害発生時の避難場所への誘導はどのような計画になっているか。
総務課長：発災直後の観光客等への対応は、町と観光協会及び関連団体が連携して町内の地理に不慣れな観光客への避難誘導等の支援に当たる。異常気象等による災害発生時、公共交通機関が不通になった場合に、周辺に防災避難を有する施設が確保されるのが望ましい。

まちづくり推進課長：現在事業を進めている複合施設は、河津の中心市街地ともいえる河津駅や商業施設からおよそ300メートル前後に位置しており、災害時には1千人程度の人



国土交通省パンフレットより

30年度今井浜ハワイアン計画は

町長―計画をさせていただく



上村 和正 議員

の観光拠点である今井浜ハワイアン計画のための調査をした。

質問：当町における問題点解決策は。

町長：観光スポーツスマンから提案があり始めた事業であるが、町観光協会に話をしている。

質問：なぜ事業の進め方が遅いのか。

町長：各関係機関の協力が得られなかった。

質問：今井浜ハワイアン計画の概要は。

産業振興課長：28年度の概要は、フラの発表、地元関係者によるパフォーマンス、ハワイアンバンドによるライブ、屋台等の出店など。予算は300万円。29年度は実施予定はない。

質問：29年度の観光スポーツスマンは。

産業振興課長：現在、受

託会社等はいない。

質問：30年度は、観光スポーツスマンがいなくても出来るのでは。

町長：イベント会社に委託する事で計画をさせていただく。

議長に議会だより73号を削除するよう求めたのか

町長―一切して
おりません

質問：議長より、一部削除するよう「強い」お願いをされた。その部分は、新聞報道で設計業者の計算ミスに係る質問で、「誰が報道の取材を受けたのか」の問いに、前まちづくり推進課長が、「私が話したところでございます」と話した部分を削除するよう議長に求めたのか。

町長：一切しておりません。

質問：2月7日の議員向け複合施設建設説明会で、誰が設計業者の計算ミス

報道の取材に対応したのかの問いに、町長は「取材が有った訳でございます。すけど、取材を受けてこの様な話をされた結果かなあ、原因かなあと反省しているところですよ」と

言っている、その後、「私は違います」と弁解をした。3月の一般質問で、前まちづくり推進課長は、町長を守るために責任をかぶったと、私は感じた。

町長自身の失態を課長になすりつけたままでいいのか。実際に取材を受けた町長は、事実を認める考えが有るのか。

町長：職員が答弁した通りです。

バガテル公園内芝生広場の グランドゴルフ練習場は

保健福祉課長―今後 協議していききたい

質問：シニアクラブにおけるグランドゴルフについて、大きな大会になると芝生での練習も必要に

なる。バガテル公園内芝生広場の利用を検討出来ないか。

保健福祉課長：観光客が多く訪れる時期については無理である。芝生の上でグランドゴルフを行うのであれば、刈り込み等を行えば実施可能であるが、大会等を行うにはコースの長さが足りない。無理と考える。しかし、多くの町民に親しまれ、多くの方が訪れて頂きたい事から、相互の協力が図れる体制を今後協議していきたい。



シニアクラブ河津 第31回グランドゴルフ大会 南小にて

一部事務組合報告

下田地区消防組合議会

5月30日、臨時議会が開かれた。

議案第5号

監査委員の選任
松崎町 福本栄一郎議員が承認可決された。

議案第6号

西伊豆消防署の位置を変更するため、下田地区消防組合消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例が可決された。

議案第7号

28年度西伊豆消防署建設工事請負契約の締結についての一部変更について。

東河環境センター議会

6月6日、東河環境センター第1回臨時会が開

かれた。議題は議長・副議長の選挙について。

議長 内山慎一議員
副議長 小林和子議員

29年度管理者は相馬宏行町長。所長は稲取の村木善幸氏です。監査委員は岡崎長治氏と稲葉静議員。

管理者の報告は、4月19日付で県より交付金の内示があり、額は8千482万円です。

議会のトリセツ(取り扱い説明書)

全員協議会とは

(法) 議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場。法定の会議である、必要に応じ、町当局や行政委員に出席を求めることができるとしておく。傍聴は議長が判断する。
(1) 議会独自の協議又は意見調整。

見調整。

(2) 本会議の審議に伴う協議又は意見調整(必要最小限にとどめるべき)

(3) 町村長による事前説明、及び意見の聴取
町村長の依頼を受けて議長が召集

目的は活発で円滑な議会運営・活動を目指した良識ある運用を図る。

副町長の挨拶



副町長 飯田 起与

副町長に就任して3ヶ月が経ちました。

就任翌日には、町議会全員協議会出席、続いて複合施設建設住民説明会、町議会第2回定例会の対応等、初め

での体験で身の引き締まる日々でした。又、相馬町長の代理として各種行事等にも参加し、いろいろと経験させていただきました。

私の目標とする「明るく元気な河津町」にむけ、町職員と連携を図りながら、業務にあたってまいります。町民の皆様のご協力をよろしく願います。

29年度県消防協会 賀茂支部査閲大会

6月11日(日)、南伊豆町差田グラウンドで前記の消防大会が開催された。

ポンプ車操法の部に第6分団が出場。小型ポンプ操法で第10分団が優勝した。

最優秀選手賞に指揮者部門で村串弘新さん、二番員部門で山口芳輝さんが選ばれました。



ポンプ車操法 第6分団



優勝 小型ポンプ操法 第10分団

議会の動き

●議長の活動

- 5月 賀茂郡議長会総会
- (南伊豆町)

●町議会活動

- 3、4、5月 例月出納検査報告
- 4月 複合施設建設計画に対する議員説明会
- 第1回町議会臨時会
- 複合施設建設計画に対する議会全員協議会

●常任委員会活動

- 3月 学校給食運営審議会
- 社会教育委員会
- 社会福祉協議会理事会

- 4月 自衛隊協力会理事会
- 5月 国民健康保険運営協議会
- 自衛隊協力会総会
- 社会福祉協議会理事会
- 民生委員推薦会

●議長に要請の諸会合

- 3月 伊豆縦貫自動車道に関する研修会
- 交通安全対策委員会
- 神奈川県大井町意見交換

- 4月 春の全国交通安全運動街頭広報
- 河津圧縮空気エネルギー貯蔵試験所開所式



宮崎啓次 議長

- 議会広報編集委員会(5回)

- 5月 伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアクセス道路網建設促進期成同盟会総会、要望活動

- 伊豆食品衛生協会河津支部総会
- 下田警察署管内防犯協会総会
- 河津町商工会通常総会
- 第78回黒船祭記念式典
- 農業経営振興会通常総会



～私モ一言～ 石田京子さん

サーフィンが大好きで、家から海まで5分〜10分という環境にすっかりはまり、京都から伊豆に来てほぼ10年たちました。伊豆は何といても海が綺麗で移住した理由のひとつです。

京都に住んでいた頃にはめったに食べられないアワビ、サザエ、伊勢海老、採れたての魚のお刺身も食べる機会が増えて、新鮮なものって本当に美味しくて幸せを感じます。

たりないものは若者と職場、子育て世代や若い方の移住者を支援するような制度が出来れば、この素晴らしい環境の中で子育ても出来、人が増えれば町も活性化して発展します。

心に残る思い出がたくさん出来て、素敵な場所めぐり合えて良かったと思っています。

そうなのにもつたないなと思います。

私の職場「禅の湯」ではそういった話題がよく出ていて、こんなイベントをやってみたいとか、河津にこんなものが有れば、などと話す機会も多く、意識の高い人達と仕事をしています。

私は河津に来て、家族のあり方、人のつながり、感謝の心、人の優しさ、今までの人生では感じられなかったことを多く学び、こんなに良い所ってなかなか無いなって思います。



編集後記

議員になって2年半が過ぎ、同時に広報委員としてこれまでに11冊の議会だよりを発行させていただきましたが、最近のテレビ、新聞の報道をはじめ、自分たちが作る広報紙というものにつき、改めて難しさを感じています。

(塩田)